



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第121号

2014.2.15

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつけています。

もくじ

お知らせ

- ー 2014 年度観察会の日程について
- ー 北広島町自然学術調査報告会について

活動報告

- ー 冬を生きる動物の生態

観察会案内

- ー 早春のトレッキング

お知らせ

● 2014 年度観察会の日程のお知らせ

2014 年度観察会の日程の一部が決まりました。
お馴染みのものや、新しい取り組みなど、魅力が盛り
だくさんです。詳しくは裏面の観察会案内をご覧ください。

● 北広島町自然学術調査報告会のご案内

北広島町教育委員会が全町域を対象に続けてきた
調査で明らかになったことを、町民や一般の方に
知っていただくための報告会を実施します。写真を使
って分かりやすくお話していただきますので、お
気軽にお越しください。

● 開催日時・場所

- ・ 3月1日（土）13:30～16:30 豊平中央公民館
 - ・ 3月2日（日）10:00～16:00 芸北文化ホール
- ※芸北会場は午前・午後に分かれますので、お弁当を
ご持参ください。お昼休憩は1時間を予定しています。
※申し込み不要、参加費無料
主催：北広島町教育委員会
実施・問合せ先：NPO 法人西中国山地自然史研究会
tel:080-6334-8601
mail:staff@shizenkan.info



観 察 会 報 告

冬を生きる動物の生態

開催日時：2014年1月18日（日）10:00

講師：上野吉雄

前日から雪が降り続き、積雪量が120cmを記録した八幡高原で、冬を生きる動物の生態の観察会が行われました。今回の講師は、野鳥観察会でお馴染みの上野先生です。

高原の自然館に14名が集合し、出発前に雪原を歩くために必要となるかんじきやスノーシューを履きました。

今回は、自然館を出発し、おーいの丘を登り、そこから千町原へと向かうルートを歩きます。

まずは自然館の周りから観察を始めました。建物の柱にはテンの爪痕がありました。上野先生によると、建物の屋根裏に入ろうとできなかったものだそうです。隙間がないため、途中で引き返していることも爪痕から分かりました。

自然館裏手のパークゴルフ場ではノウサギの足跡が見つかりました。足跡の近くのカラコギカエデやノリウツギから、斜めに鋭く尖ることが特徴の、ノウサギの食痕が残されていました。

おーいの丘へ向かう道では、明るい赤色の実をつけるツルウメモドキや、脂肪分を多く含み、冬鳥が好んで食べるヌルデ、黄色い樹皮が特徴で薬として重宝されていたキハダなど、様々な種類の実や冬芽を観察しました。

丘を下り、千町原へと足を運びます。林内では、テンが通った痕跡が見つかりました。テンは雑食性で、木に登って実を食べたり、時には自分よりも大きいノウサギも襲うこともあり、テンのように、冬でも食べる物がある動物は冬眠をせず、活動を続けることを上野先生は話されました。車道の近くでは、ツグミとジョウビタキが観察できました。多くは沿岸部などに移動していますが、少数はそのまま越冬しているそうです。参加者は双眼鏡を使って観察したり、さえずりにじっと耳を傾けていました。

最後に上野先生が、観察した動物についてまとめとして解散となりました。

冬は一見静かな季節ですが、よく見ると色々な生き物達が活動していること、その様子が雪上に残るため、どんな動物が活動しているのかがわかりやすいことなどを感じられた観察会でした。（ありみつまさかず）



雪上を歩くためにかんじきを履く。初めての参加者も、教わるとすぐに履けるようになった。



柱に着いているテンの爪痕を指す上野先生。



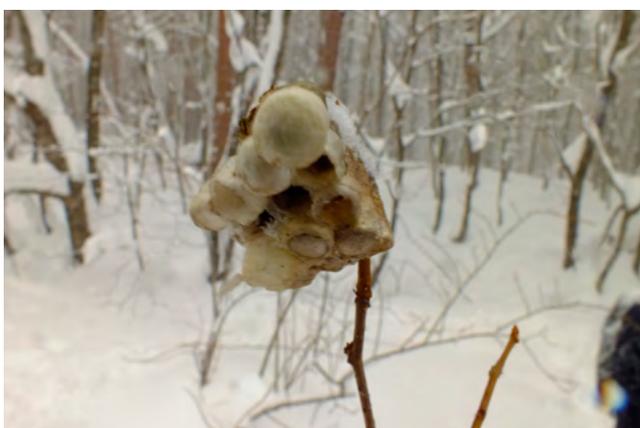
赤い実をつけるツルウメモドキ。積もる雪がより美しさを際立たせていた。



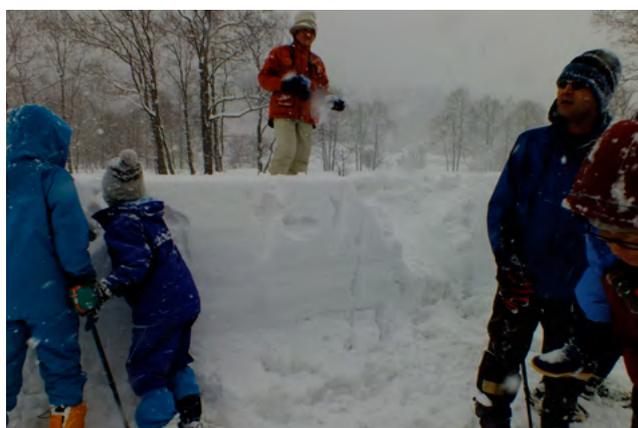
テンの歩いた跡。柔らかい新雪を、かきわけるように進んでいる。



木に留まるツグミを観察。八幡では少数が越冬していることを聞いた。



林内にはアシナガバチの巣が残っていた。



千町原から除雪済みの車道へと合流した。



1列になって千町原を歩く。

【みなさんの印象に残った物】

「いろいろな種類の鳥が見れたこと」「雪が多かった」「ツグミ」「鳥の群れが見れたこと」「昨年也会えたウサギ、また会えてうれしいです」「テンのラッセル跡」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「動物の足跡が見れてよかったです」「雪上歩行訓練でした」「雪がなれてなくてたいへん」「寒かったです、とても興味深かった」「ウサギに比べ、テンの足跡。苦労しているなということがわかりました」「寒かったです、貴重な体験ができました」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳
作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

●早春のトレッキング

開催日時：2014年3月8日(土) 10:00
集合場所：高原の自然館
講師：上野吉雄
準備：基本セット、双眼鏡
定員数：30名
参加費：一般=300円、賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

春の兆しを見つけに行くトレッキングです。春を待つ植物や野鳥を見ながら歩きましょう。冬と春の両方の季節を感じることでできる機会です。雪が残っている場合はしっかりと歩ける準備をしてください。冬の間、雪の下を掘ったハタネズミのトンネルや、動物たちが残した糞も見つかることでしょう。

※冬期の観察会は、悪天候の場合、中止になる可能性があります。連絡がとれるよう、必ず事前に申し込みをお願いします。

●2014年度の観察会日程

4月 26日 山焼き後の雲月山植物観察会
27日 春の溪畔林の植物観察会
29日 カスミサンショウウオの産卵調査
5月 10日 サクラソウの観察会
17日 大潰山の春植物観察会
18日 ブナ林の野鳥観察会

※観察会の日程は変更となる場合があります。日程の変更やその他の観察会については次号以降の電波塔またはホームページにてお知らせします。



2014年になり、早1月以上が経過しました。八幡ではぐっと気温が下がり、霧氷が見られた日がありました。1月下旬に、千代田・大朝で行われた自然学術調査報告会に、多くの方にご来場いただきました。3月の初めには豊平・芸北で行います。詳細は、今号のお知らせ欄にてご案内していますので、ぜひお気軽にご参加ください。(ありみつ)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしています)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info